

学校自慢

かしこく・やさしく・
たくましく

船橋市立豊富中学校長 かわさき ひろき
川崎 博樹



1 はじめに

本校は市北東部に位置し、全校生徒118名、通常学級5、特別支援学級1、教職員25名の小規模校で、今年度、創立74年を迎える。

生徒は明るく素直であり、子供らしい元気のよさや純朴な面が見られる。一方で、豊富小学校一校からの限られた人間関係の中で、新たな刺激が少なく、たくましさや競争心に欠ける傾向にある。また、学区は広大で、市内で唯一、自転車通学が許可されている中学校である。学校教育目標は「かしこく・やさしく・たくましく」である。

2 学校自慢

(1)豊かな環境

大人気のふなばしアンデルセン公園と隣接しており豊かな自然に囲まれている。生徒数の割に校地面積は16,480㎡と広大で、グラウンドには野球場と200mトラック、テニスコートが4面あり、体育館では女子バレーボール部と柔道部が常時使用可能と、空間を贅沢に広々と使える環境である。

ランチルームは全校生徒が一度に喫食できる。A（ご飯類中心）、B（パン・麺類中心）、弁当の選択式自校給食で、作りたてで熱々の給食が陶製の食器で提供され、教職員と生徒が、共に楽しいひと時を過ごしている。

市内全ての中学校の普通教室と特別支援学級には電子黒板が設置されており、今年度中に1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークが整備されることで、GIGAスクール構想の実現に向けたICT環境が整う予定である。

(2)小中一貫教育研究

平成30年度から5年間、船橋市の指定を受け「小中一貫教育」の研究をしており、今年で3年目を迎える。学習のきまりの統一、小中ステップアップテストの実施、小学校への乗り入れ授業等を活用して、一小一中のメリットを生かしながら、学力向上を中心に9年間を見通した指導を目指している。

(3)地域と共に

地域のつながりが非常に強く、学校に対しても協力的である。令和3年度から学校支援地域本部事業を開始し、地域ぐるみで子供を育てる環境を整えていく予定である。他にも「豊富地区青少年の環境を良くする市民の会」、「豊富地区柔道愛好会」、「豊富地区社会福祉協議会」、「豊富地区連合町会」等、学校を取り巻く地域の組織が有機的に機能している。

(4)ほぼ毎日豊中日記「豊中つれづれ草」

赴任した昨年度から、本校のWebサイトに「豊中つれづれ草」というコーナーを作り、学校の様子や心に浮かんだこと等を、ほぼ毎日、写真付きで発信しており、生徒や保護者、地域の方等から好評を頂いている。紙媒体の「校長だより」も考えたが、字数等の制限もなく、印刷する手間やコストもかからないので、情報発信の手段としてはオススメである。



3 おわりに

全教職員で全生徒を見ることができる小規模校のメリットを最大限に生かして、家庭や地域と共に、新型コロナウイルス感染症に負けないように、笑顔と感動の溢れる学校にしていきたい。